

地域と大学

第51号

Newsletter No.51, Education Center for Regional Development

地域と研究を結ぶ意味を考える

人文社会科学部・教授／未来社会デザイン機構・副機構長 **横田 宏樹**

2025年4月より未来社会デザイン機構の副機構長に着任しました、横田宏樹です。主担当としては、人文社会科学部（経済学科）および山岳流域研究院に所属しています。よく専門は何ですか？と聞かれることが多いのですが、最近「森林社会経済学」と答えています。

これまでの私の研究経歴を簡単に振り返ると、学部生の頃はマルクス経済学、大学院時代はレギュレーション理論にもとづく資本主義の多様性論、そしてフランスに留学してからは自動車産業を中心とした資本主義における企業モデル分析というように、グローバル単位や国家単位の研究をずっと続けてきました。私が初めて地域研究に視点を移したのが、2014年にフランス留学そして長い学生生活を終えて教員として赴任した旭川の地からでした。これまでの研究、旭川という地域性、そして地域における大学の役割を考えながら研究テーマを探していた時に、旭川地域の地場産業である家具産業に出会いました。規模は違いますが自動車産業と同じものづくり産業であり、また旭川地域の経済や社会の発展との結びつきも強いということもあり、家具産業の研究をスタートさせました。ゆえに、地域経済学や地域産業論を専門にしてきた訳ではありません。さらに、家具産業の研究を進めていくと、特に旭川地域から家具の研究を始めたからかもしれませんが、産業や経済の視点だけから見ても旭川家具の価値の全体は見え、ものづくりの源流である森林から見て初めて地場産業としての旭川家具の本質の意味が少しずつ見えてきました。つまり、地場産業を研究するには経済だけではなく、社会、暮らし、自然というように産地全体の視点が必要だと学びました。

さて、少し長く私の研究経歴について話しましたが、

地域経済や地域産業といっても家具産地の研究が中心です。しかし、私の大きな問題意識としては、家具産地を事例にして、経済（産業）における森林資源の利



ネムノキの家具たちとその源流である木の切り株（場所：静岡大学天竜演習林）

用とそこから生み出されるモノとしての製品が、森づくりや日常の暮らしと結びつきながら、経済成長を追い求めて一方的に利用してきた自然との関わり方をどのように作り直していけるのか、ということを考えています。そこで、冒頭にも書いたように専門を森林社会経済学というように答えるようにしました。

地域（ローカル）を分析対象にするとき、そこで起こっていることはとても局所的で、普遍性を導こうとする従来の研究の考え方からすると、研究としてはむしろ地域活動として映ってしまうかもしれません。しかし、これからの未来社会を作っていくためには目の前で起こっていることに対して、私たち一人ひとりが主体的に考え方や行動を問い直し変えていくことが必要です。日常の暮らしこそ私たちの行動や考え方の形成の土台であり、私たちにとって最も身近な日常空間こそ地域です。局所的で特殊な事例ではあるけれども、地域こそ国家や世界の仕組みを変えていく基礎的な単位であると思っています。地域研究の意義を認識し、研究という視点から地域に関わることが大学人である私たちの役割であることを私自身も地域研究を通して学び、研究者としての意識も大きく変わりました。

2025 年度静岡大学公開講座

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	受講料	主催
私のミカン ～ミカンの通年管理教室～ [全5回]	技術部技術専門員・成瀬博規 技術部技術専門職員・周藤美希	5/13,7/8,9/9,11/18、 3/3(いずれも火曜日) 13:30～15:30	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	一般市民	10	11,700	技
子どもの「やってみよう」を支 えるために： 遊びの中のリスクマネジメント	教育学部附属幼稚園園長・鈴木富美子 他 教育学部教授・村越 真	5/28(水) 13:30～15:30	教育学部附属 幼稚園園庭 (雨天時：遊戯 室)	小学校就学前の 子どもの保護者(満 2～4歳のお子様 の同伴可)	20	無料	教
初心者のためのエンジョイゴル フ	教育学部教授・赤田信一	5/31(土) 13:30～18:00	静岡キャンパス ゴルフ練習場、大 谷ゴルフ場ショート コース	・ゴルフが初体験 (又はほぼ初心 者)となる一般市 民(18歳以上30 歳未満)の方 ・ゴルフコース(約 2km)を歩ける体 力がある方 ・YouTubeでの事 前学習サイト(仲 間と楽しく健康ゴル フ)の視聴が可能 な方	10	1,500 (別途 大谷 ゴルフ 場のラ ウンド 料金 2,000)	教
子育て力アップセミナー ～子どもの未来を育む親になる～ [全2回]	教職大学院特任教授・福島貴子	6/21(土)、7/5(土) 10:00～12:00	静岡市健康文化 交流館「来・てこ」	小学生の子ども の保護者	10	無料	教
緑茶作りに挑戦しよう	農学部教授・稲垣栄洋 技術部技術専門員・西川浩二 技術部技術専門職員・成瀬和子	7/29(火) 13:30～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	小学生とその保護 者、一般市民	20	1,100	技
農薬を使わない害虫防除を学 ぼう [全4回]	農学部准教授・田上陽介 農業・食品産業技術研究総合機構・ 世古智一 アリストライフサイエンス株式会社・ 関口実里	8/2(土)・23(土) 9:00～12:00、 13:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生	10	無料	農
作って学ぶ、工学部の化学実験	工学部教授・植田一正 技術部技術専門員・草薙弘樹 技術部技術専門職員・早川敏弘	8/5(火) 13:00～16:00	浜松キャンパス	中学生・高校生(保 護者同伴可)	20	無料	工
ゲノム解析の最前線へようこそ! [全2回]	静岡共同利用機器センター研究補佐 員・鈴木智子 技術部技術職員・伊藤由希子 技術部技術職員・村野宏樹 静岡共同利用機器センター教授・ 道羅英夫 技術部技術専門職員・森内良太 静岡共同利用機器センター職員・ 大島由紀子	8/5(火)・6(水) 10:00～17:00	静岡キャンパス	静岡県内高校生	12	無料	共
体験 大学部の化学実験 [全2回]	静岡共同利用機器センター教授・ 近藤 満	8/23(土)・24(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	中学生・高校生(保 護者・引率教員の 同伴可)	30	無料	共

講座名	講師	日時	会場	対象	各日 定員	受講料	主催
第6回 邦人作品の調べ	教育学部講師・服部慶子 他	10/4(土) 14:00～15:30	静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21)	一般市民	100	無料	教
情報教育の高大接続	情報学部准教授・遠山紗矢香 情報学部准教授・木谷友哉 情報学部講師・西村崇宏 情報学部助教・岡沢 亮	11/8(土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	一般市民、興味 のある方ならど なたでも	100	無料	情
キンカンの収穫とジャム作り	技術部技術専門員・成瀬博規 技術部技術専門職員・周藤美希 やまゆスイーツ代表・小野延子	12/2(火) 13:00～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	一般市民	9	3,900	技
柿の剪定	技術部技術専門員・成瀬博規 技術部技術専門職員・周藤美希	12/11(木) 13:00～16:00	農学部附属 地域フィールド 科学教育研究 センター	一般市民	10	1,100	技
安心登山・アウトドア活動の ための読図とナビゲーションスキル (初級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元日本代表選手・ 小泉成行	12/14(日) 9:00～16:00	静岡キャンパス 教育学部B棟 と周辺エリア	①②の条件をすべ て満たした方 ①登山経験者で 平地3km、山道4 km程度を無理なく 歩ける方 ②YouTubeで 閲覧する事前学習 (予習30分程度) が可能な方	20	4,900	教
東洋と西洋における発酵文化と 社会	未来社会デザイン機構准教授・内山智 尋 人文社会科学部教授・戸部 健 関西大学文学部教授・澤井一彰 人文社会科学部教授・大原志麻 人文社会科学部准教授・辻 佐保子	3/7(土) 10:00～16:00	対面： 静岡市葵生涯 学習センター (アイセル21) オンライン： Zoomミーテ ィング	一般市民、学生、 研究者	対面80 オンライン 50	無料	人
安心登山のための読図と ナビゲーション (中級編)	教育学部教授・村越 真 オリエンテーリング元日本代表選手・ 小泉成行	3/14(土) 9:30～16:30	静岡市・藤枝 市 市境付近	①②③の条件をす べて満たした方 ①過去に本学開 催の公開講座の 初級編を受講した 方(安心登山のた めの地図と地図ア プリ活用術(初級 編)を含む)、又は 地形図の基礎知 識がある方 ②登山経験者で 平地3km、山道5 km程度を無理なく 歩ける方 ③YouTubeで 閲覧する事前学習 (予習60分程度) が可能な方	20	5,600	教

【主催欄凡例】

人=人文社会科学部 教=教育学部 情=情報学部 工=工学部 農=農学部 共=静岡共同利用機器センター 技=技術部

地域創造学環 事業報告

静岡大学地域創造学環は、2016年4月にスタートした、従来の学部の枠組みを超えた全学学士課程横断型教育プログラムです。幅広い教養と高い専門知識を身につけながら、地域（フィールド）に飛び出し、より魅力的な地域社会の創造に取り組むことのできる人材の育成を目指しています。

地域創造学環のカリキュラムの柱である「フィールドワーク」の授業は、地域と連携しながら地域課題の発見および解決に取り組んできましたが、2023年度に6学部の教育成果を融合し、地域創造学環を発展的に取り入れた新たな学びの場として、「グローバル共創科学部」が開設したことに伴い、地域創造学環の学生募集は2022年度にて終了いたしました。よって、2024

年度末には第7期生のフィールドワーク活動の終了をもって、地域創造学環のフィールドワークのほとんどが終了することとなりました。

これまで地域創造学環のフィールドワーク活動にご理解とご協力を賜りました地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

なお、これまでの活動をまとめた『フィールドワーク報告書』を、地域創造学環のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

静岡大学

地域創造学環ホームページ

<https://www.srd.shizuoka.ac.jp>



【2024年度に活動したフィールド】

フィールド	テーマ
静岡市 清水港周辺地域	清水港周辺地域がつながる” “ひろがる” “にぎわう” 活動
静岡市 庵原地区	庵原地区の地域資源を活かした食・スポーツによる地域活性化
静岡市 おまち	おまちを中心とした静岡市内のにぎわい創出
静岡市 浅間通り商店街	浅間通り商店街のにぎわい創出
焼津市 浜通り	地域住民と高校生との交流に基づいた地域づくり活動
浜松市 浜松文芸館	私のまちの文芸世界
浜松市 佐久間町	交流の輪づくり～新たな関係構築～
掛川市 田園空間博物館 南遠州とうもろの里	子どもたちを呼び込むための環境づくり
御前崎市	御前崎スポーツ振興プロジェクト～スポーツによる交流人口の拡大と産業振興の推進～
松崎町	①なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出 ②防災と観光の両立
東伊豆町	東伊豆町の新しい観光スタイルの発掘・創出プロジェクト
伊豆半島全域（ジオパーク）	地域づくりとジオパーク
多世代の居場所づくり	多世代の居場所づくりと防災教育の実践

【2024年度までに活動を終了したフィールド】

木下恵介記念館	木下恵介記念館への若者誘致
川名ひよんどり	郷土伝統芸能の伝承／文化の保存と公開の技術
静岡市 東静岡駅前	アートとスポーツによるにぎわい創出
静岡市 駒形通四丁目商店街	駒形通四丁目商店街のにぎわい創出
伊豆半島ジオパーク 保全と防災	伊豆半島ジオパークにおける環境保全と防災対策
県営団地	県営住宅団地における居場所づくりと地域福祉資源のネットワーク
学内地域連携拠点	静大発 地域と大学の連携を広めよう！

2024年度地域創造学環フィールドワーク報告会・座談会

学環生が1年間で行ってきたフィールドワーク活動を地域の皆様にご報告する年に一度の機会として、「フィールドワーク報告会」を毎年5月に行ってきましたが、2024年度は今年の2月に静岡大学・大会館ホールにて開催いたしました。

最後となりました2024年度の報告会は、通常とは異なるポスター形式による発表を行いました。活動の動画を見せながら発表したグループもあり、発表する学生の工夫も見られました。また学内で行ったため、静大生や先生方にも見ていただくことが出来ました。

ポスター発表後には、参加者の皆様からその場でご質問をいただくなど、対話を通じて有意義な意見交換の場となったようでした。

なお、学生が作成したポスターは下記からご覧いただけます。

静岡大学
地域創造学環ホームページ
https://www.srd.shizuoka.ac.jp/2024fw_poster/



午後からの第2部では、地域の皆様と学生が自由に語り合う機会として「フィールドワーク座談会」を行いました。2~3フィールドごとに編成したグループに地域の方々にもご参加いただき、3つのトピックについて意見交換を行うという趣旨でした。

座談会は今回が初めての企画であり、学生たちも初めは少し戸惑いを見せていましたが、ほかのフィール

ドの活動に触れることで、これまでの様々な経験を共有することが出来ました。終了後のアンケートには「有意義な時間が過ごせた」との感想が寄せられました。また、地域の皆様からも、「学生と直接話ができる機会があってよかった」との声を多数いただきました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



↑ 意見交換の内容を各グループで模造紙にまとめた

地域人材育成・プロジェクト部門の上半期事業報告

地域連携応援プロジェクト

2011年度より「地域連携応援プロジェクト」として、本学学生・教職員が主体となり、すでに地域団体や自治体等と協働で取り組んでいる、または、新たに取り組もうとする地域の活性化につながる活動を学内で公

募し、支援しています。2025年度は13件の応募があり、全てを採択しました。年度末には成果報告書を刊行し、学内外に広く配布する予定です。

採択したプロジェクト一覧

部局	代表者	プロジェクト名
人文社会科学部	張 盛開	静岡おでんの魅力発信と多言語サポート
人文社会科学部	山岡 拓也	静岡県浜松市浜名区滝沢町の洞窟遺跡を紹介する展示ポスター制作事業
人文社会科学部	大槻 知世	静岡市葵区井川地区における方言継承に向けた協働型フィールドワーク
人文社会科学部	山田 健	「沼津モデル」の模索：沼津市における基礎自治体の人事戦略の研究
教育学部	川原崎 知洋	「静岡の技」の新たな価値を切り拓くデザインプロジェクト ～お茶染めによるクリスマスオーナメントの開発～
情報学部	杉山 岳弘	浜松市楽器博物館における楽器の3Dモデル化とVR空間における演奏体験支援事業
情報学部	許山 秀樹	伊豆周辺の漢文系石碑と地域活性化
情報学部	後藤 謙太郎	「高校生情報・探究コンテスト」開催による探究学習応援事業
工学部	立岡 浩一	浜松市と大学との連携事業～大学生による講座～(小学生児童を対象とした理科工作教室)
農学部	松本 和浩	天城甘茶を河津町の新たな地域ブランドに！ ～聞き書きによる利活用文化の調査・保存と新規在来系統選抜による種苗生産準備～
グローバル共創科学部	池田 恵子	命・健康・尊厳を守る避難所運営の実践的研修モジュール開発(2年目)
グローバル共創科学部	立花 由美子	「連詩」を用いた駿河区内生涯学習センターと大学のネットワーク連携事業
情報基盤センター	永田 正樹	障がい児・者向け講習を取り込んだ「ふくろいICT寺子屋」

静岡大学創立60周年記念事業を継承した連携講座

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座 「時代と地域のチカラ」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	7/12(土)	地域で起こすイノベーションとは	坪井秀次(静岡大学未来創成本部/グローバル共創科学部・准教授)	63
2	8/2(土)	放送メディアは「時代」とどう向き合ってきたか	丸山友美(静岡大学情報学部・准教授)	73
3	8/23(土)	身近な公共施設の今後のあり方を考える	佐藤正志(静岡大学教育学部・准教授)	65
4	9/13(土)	住民自治の可能性を問う	内山智尋(静岡大学未来社会デザイン機構・准教授)	—
5	10/4(土)	戦後の静岡県における就職と労働	長谷川達朗(静岡大学人文社会科学部・講師)	—

■会場：あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6階大ホール

■参加費：無料

■連携先：読売新聞東京本社静岡支局

2 静岡大学・中日新聞連携講座 「イメージング技術の世界に迫る」

回	開催日	タイトル	講師	参加者
1	10/3(金)	深化するX線イメージング ～レントゲン写真からフォトンカウンティングへ～	青木 徹（静岡大学電子工学研究所長）	-
2	11/18(火)	カメラの目はどこまで進化する？ ～イメージセンサの仕組みと最新動向～	安富 啓太（静岡大学工学部・准教授）	-
3	12/2(火)	中性子でイメージングを ～半導体中性子検出器の実現に向けて～	中野 貴之（静岡大学工学部・教授）	-
4	12/23(火)	XR（クロス・リアリティ）がつかぐ現実と不可視の世界	加瀬 裕貴（静岡大学情報学部・助教）	-
5	2/3(火)	未来を透かすテラヘルツの眼～葉やプラスチックを “見抜く” テラヘルツ波のチカラ～	佐々木 哲朗（静岡大学大学院光医工学 研究科・教授）	-

■会場：静岡大学浜松キャンパス附属図書館分館・学生支援棟（S-Port）3階大会議室

■参加費：無料

■連携先：中日新聞東海本社

主催事業

静岡大学東部市民講座

静岡の言語と民俗～県東部にスポットをあてて考える～

・日時：2025年6月21日（土）13:00～16:15

・場所：プラサヴェルデ 4階 407会議室

・講習料：無料

・プログラム

①13:00～14:30

「方言からわかること：日本語の方言・静岡の方言」

講師：堀 博文（静岡大学人文社会科学部・教授）

②14:45～16:15

「現代民俗学から考える静岡県東部の日常と文化」

講師：辻本侑生（静岡大学地域創造教育センター・講師）

・参加者数：66名

静岡大学数理データ・サイエンス初級講座

「データサイエンス・AIの世界へのいざない」

・開講期間：2025年6月2日（月）～2026年3月31日（火）

・受講形式：Googleドライブによる自習形式（オンデマンド）

ご自身のご都合にあわせ、配信終了まで自由に学習することができます。

・受講料：無料

・対象者：一般市民（定員制限なし）

・学習内容：受講時間90分

・申込締切：2026年3月24日（火）

詳細は以下サイトからご確認ください。

<https://www.lc.shizuoka.ac.jp/event004192.html>

・お問い合わせ：静岡大学地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門

メール：kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

静岡大学数理データ・サイエンス講座

「データサイエンス・AI入門講座」

・開講期間：2025年9月1日（月）～2026年2月27日（金）

・受講形式：Googleドライブによるオンデマンド受講

・受講料：20,000円（全16回）

・対象者：企業、自治体、教育機関等の就業者

・学習スケジュール：データサイエンス基礎（4回）、統計基礎（4回）、AI基礎（8回）

・申込締切：2025年12月24日（水）

詳細は以下サイトからご確認ください。

<https://www.lc.shizuoka.ac.jp/event004222.html>

・お問い合わせ：静岡大学地域創造教育センター 地域人材育成・プロジェクト部門

メール：kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

企画協力事業

令和7年度6大学連携共同講座 「しずおか中部 “未来学” ～学びにふれ、描く私のNext Stage～」

- ・日時：2025年8月21日（木）13：00～17：00
- ・場所：BiViキャン
- ・対象：高校生・大学生
- ・参加料：無料
- ・プログラム

共同講座（静岡大学担当講座）

「藤枝宿の魅力をオリジナル歴史地図で発信」

講師：静岡大学地域創造教育センター・山本研究室

- ・参加者数：16名
- ・主催：藤枝市大学ネットワーク会議（静岡産業大学、静岡大学、常葉大学、静岡福祉大学、静岡県立大学、静岡理工科大学）、藤枝市

令和7年度 Reまなび大学リレー講座 「知る、学ぶ、働くをつなぐ、アップスキリング」

- ・日時：2025年9月11日（木）～11月20日（木）
18：30～20：00
- ・場所：会場参加（静岡市役所静岡庁舎新館3階食堂スペース「茶木魚」）とオンライン参加の併用
- ・受講料：無料
- ・プログラム
- ①9/11(木)「イノベーションと持続的学びのポイント」
講師：永吉実武（静岡大学情報学部・教授）
- ②9/25（木）「非言語を活かす対話術」

講師：藤田実季（東海大学人文学部・講師）

- ③10/9（木）「これからの農業」
講師：牧野正和（静岡県立大学食品栄養科学部・教授）
- ④10/23（木）「人工知能の歩み」
講師：四宮友貴（静岡理工科大学情報学部・准教授）
- ⑤11/6（木）「仕事に活かす!今さら聞けないデジタル基礎リテラシーと生成AI入門」
講師：飯塚重善（静岡英和学院大学人間社会学部・教授）
- ⑥11/20（木）「女性はなぜ将来に不安を感じるのか」
講師：新井浩子（常葉大学教育学部・講師）
- ・主催：大学連携生涯学習事業（静岡大学、静岡英和学院大学、常葉大学、静岡理工科大学、東海大学、静岡県立大学）、静岡市

市民開放授業

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するものです。2025年度前学期の開講科目数、受講者数は以下の通りです。

開講科目数			受講者数		
静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計	静岡キャンパス	浜松キャンパス	合計
30	6	36	34	12	46

また、後学期事前説明会を両キャンパスで開催します。

- ・日時：9月17日（水）14:00～15:30
- ・会場：[静岡キャンパス] 事務局別館1A会議室
[浜松キャンパス] S-Port 3階会議室
[オンライン] zoom ミーティング

2025年度企画実施委員会

当センターには、「企画実施委員会」が組織されています。地域連携・課題解決に関する事項や全学公開講座の企画・立案・実施に関する事項、その他大学開放および地域人材育成に関する事項について検討しています。今年度の委員は以下のとおりです。

- 水谷 洋一 地域創造教育センター長
- 山本 隆太 地域人材育成・プロジェクト部門長
- 辻本 侑生 地域創造教育センター講師
- 横濱 竜也 人文社会科学部教授
- 洪江かさね 教育学部准教授
- 永吉 実武 情報学部教授
- 塚田 直史 理学部准教授
- 立岡 浩一 工学部教授

- 市原 実 農学部准教授
- 朱 暉 グローバル共創科学部教授
- 山本好比古 大学教育センター准教授
- 山口 典子 地域連携推進課長

地域と大学 第51号

発行日——2025年9月9日

発行——静岡大学地域創造教育センター

編集——小川 智津子

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
(事務局別館2階)

TEL: 054-238-4817 FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp

URL: www.lc.shizuoka.ac.jp/

(事務局) 学務部地域連携推進課 ☎ 054-238-4056